

平成29年10月24日公表
(令和元年12月24日最終更新)

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

釧路市

目 次

1	要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表	
(1)	要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表（釧路市が所管する区域内の建築物）	1
(2)	耐震診断結果公表	
ア	不特定多数の者が利用する大規模建築物	
①	ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設	2
②	病院、診療所	2
③	集会場、公会堂	2
④	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	2
⑤	ホテル、旅館	3
⑥	博物館、美術館、図書館	3
⑦	飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの	3
⑧	保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	4
イ	避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物	
⑨	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校	5
(3)	附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価	11
(4)	参考 耐震診断結果の見方	12

要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表(釧路市が所管する区域内の建築物)

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用 途	公表 建築物数	構造耐力上主要な部分の地震 (震度6強から7程度)に対する安全性(注)			耐震改修 工事中
		I	II	III	
		倒壊・崩壊 の危険性 が高い	倒壊・崩壊 の危険性 がある	倒壊・崩壊 の危険性 が低い	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物	9	0	2	7	0
① ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設	1		1		
② 病院、診療所	1			1	
③ 集会場、公会堂	1			1	
④ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	1			1	
⑤ ホテル、旅館	1			1	
⑥ 博物館、美術館、図書館	1			1	
⑦ 飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの	1		1		
⑧ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	2			2	
イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物	20	0	0	20	0
⑨ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校	20			20	
合 計	29	0	2	27	0

(注) 1の建築物に構造上独立した部分が複数ある場合などは、安全性の評価が最も低い部分により分類している。建築物毎の詳細は、別に示す。

耐震診断結果公表

ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物

① ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	パレスポウル	鉦路市幸町10丁目1番	ボーリング場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	Is/Is0 = 0.77 (1.00) Ctu·Sd = 0.49 (0.28)	耐震改修補強設計	検討中 検討中	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

② 病院、診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鉦路市夜間急病センター	鉦路市住吉2丁目71番36	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.60 (0.30)	-	-	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成20年2月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

③ 集会場、公会堂

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鉦路市民文化会館	鉦路市治水町16番2 他	公会堂	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	Is/Is0 = 1.84 (1.00) Ct·Sd = 1.17 (0.35)	-	-	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

④ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	新橋六丁目サトービル	鉦路市新橋大通6丁目2番1	物品販売業を営む店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ct·Sd = 0.61 (0.30)	-	-	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成13年10月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

⑤ ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ホテルクラウンヒルズ鉚路	鉚路市北大通13丁目1番14 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ct·Sd = 0.50 (0.28)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年6月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

⑥ 博物館、美術館、図書館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	鉚路市立博物館	鉚路市春湖台35番407	博物館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	Is/Is0 = 1.09 (1.00) Ctu·Sd = 0.69 (0.32)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 , Rt= 1.00
	1棟 (SRC造)							
	2棟 (SRC造)							
	3棟 (RC造)							
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	Is/Is0 = 1.14 (1.00) Ctu·Sd = 2.88 (0.32)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 , Rt= 1.00
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.13 (1.00) Ctu·Sd = 0.92 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

⑦ 飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	オリエンタルプラザ	鉚路市末広町5丁目13番地 他	飲食店	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	Is/Is0 = 0.63 (1.00) Ctu·Sd = 0.31 (0.28)	耐震改修 補強設計	令和5年6月 令和4年6月	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

⑧ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	釧路市役所本庁舎	釧路市黒金町7丁目5番1 他	市庁舎					法第5条第3項第1号※2
	庁舎棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu・Sd = 0.45 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修済み(平成22年2月)
	議場棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ctu・Sd = 0.81 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修済み(平成22年2月)
2	釧路方面本部総合庁舎	釧路市黒金町10丁目5番地1	警察庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.00 (1.00) Ct・Sd = 0.77 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修済み(平成11年11月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物

⑨ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	釧路市立愛国小学校	釧路市愛国西1丁目25番1	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	1-1, 1-2, 2, 6-1, 6-2, 7-1, 7-2棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.03 (1.00) Ct·Sd = 0.75 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成12年10月)
	14棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.23 (1.00) Ct·Sd = 1.10 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成12年10月)
2	釧路市立興津小学校	釧路市興津3丁目83番3 他	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	6, 8棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ctu·Sd = 0.65 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	9, 13棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.67 (1.00) Ctu·Sd = 0.47 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
3	釧路市立大楽毛中学校	釧路市大楽毛1丁目10番1 他	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	1, 2-1, 4, 6, 7棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.00 (1.00) Ctu·Sd = 0.76 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	5, 8棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 2.24 (1.00) Ctu·Sd = 1.68 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
4	釧路市立音別小学校	釧路市音別町中園2丁目1番	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	16棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.00 (1.00) Ct·Sd = 0.70 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成11年8月)
	16, 17棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ct·Sd = 0.73 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成11年8月)
	20棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.12 (1.00) Ct·Sd = 0.79 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成11年8月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施時期		
5	釧路市立北中学校	釧路市喜多町1番1	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2	
				20, 23-1, 23-2棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.00 (1.00) Ct・Sd = 0.35 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成14年12月)
				24棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ct・Sd = 0.90 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成14年12月)
				25, 33棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.09 (1.00) Ct・Sd = 0.31 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成14年12月)
				28-1, 29棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.41 (1.00) Ct・Sd = 0.30 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成14年12月)
				28-1, 28-2, 30, 31-1, 31-2棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0 = 1.05 (1.00) Ct・Sd = 0.35 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成14年12月)
6	釧路市立共栄小学校	釧路市双葉町4番1 他	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2	
				40, 43棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.24 (1.00) Ctu・Sd = 0.41 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
				41, 44, 46, 47棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ctu・Sd = 0.53 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
				42-1, 42-2, 45棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.07 (1.00) Ctu・Sd = 0.38 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
				48棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.52 (1.00) Ctu・Sd = 1.14 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
7	釧路市立桜が丘小学校	釧路市桜ヶ岡2丁目3番64 他	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2	
				34-1, 34-2, 45, 46棟 (RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.00 (1.00) Ctu・Sd = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
8	釧路市立桜が丘中学校	釧路市桜ヶ岡6丁目42番117	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	6, 9棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ctu·Sd = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	5, 7棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ctu·Sd = 0.39 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
9	釧路市立昭和小学校	釧路市昭和中央3丁目12番3 他	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	12-1棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.06 (1.00) Ctu·Sd = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	11, 13棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.12 (1.00) Ctu·Sd = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
10	釧路市立城山小学校	釧路市城山1丁目141番47	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-5棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.18 (1.00) Ctu·Sd = 0.68 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	2-1, 2-2, 2-3棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.05 (1.00) Ctu·Sd = 0.65 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	2-4, 2-8, 2-9, 3-1, 3-2, 3-3, 19棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ctu·Sd = 0.63 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	2-6, 2-7, 5棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.03 (1.00) Ctu·Sd = 0.71 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
11	釧路市立鶴野小学校	釧路市鶴野58番5156 他	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	1, 12棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.76 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	2棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.83 (1.00) Ctu·Sd = 0.63 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	3-1棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.72 (1.00) Ctu·Sd = 0.57 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	4, 5棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.03 (1.00) Ctu·Sd = 0.35 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	6棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.21 (1.00) Ctu·Sd = 0.33 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	7, 13棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 2.04 (1.00) Ctu·Sd = 0.44 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	8棟 (S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.34 (1.00)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
12	釧路市立鳥取小学校	釧路市鳥取北3丁目13番	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	27, 30, 31棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.12 (1.00) Ctu·Sd = 0.37 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	28, 29, 32, 33棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.43 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
13	釧路市立鳥取中学校	釧路市昭和町2丁目5番1 他	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	37-1, 37-2, 39棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.75 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	40, 50棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ctu·Sd = 0.78 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	釧路市立鳥取西小学校	釧路市鳥取北7丁目5番	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標 (Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	6-1, 6-2, 6-3, 6-8, 9棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.21 (1.00) Ctu·Sd = 0.33 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
	1-1, 2, 3-1, 3-2, 6-6棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.16 (1.00) Ctu·Sd = 0.46 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
	1-2, 6-4棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 2.15 (1.00) Ctu·Sd = 1.56 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
	6-7棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.37 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
	6-5棟 (S造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	Is = 2.02 (0.70) q = 8.11 (1.00)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
	13棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.07 (1.00) Ctu·Sd = 0.34 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成19年3月)
15	釧路市立春採中学校	釧路市春採5丁目153番1 他	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標 (Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	1-1, 1-2, 45棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.15 (1.00) Ctu·Sd = 0.86 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	1-3, 2-1, 40棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ctu·Sd = 0.76 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	3-1, 3-2棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.75 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
16	釧路市立美原小学校	釧路市美原4丁目2番	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標 (Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	10, 11, 12, 20, 22棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.76 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)
	13, 16, 17棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.09 (1.00) Ctu·Sd = 0.82 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成28年3月)

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
17	釧路市立武佐小学校	釧路市武佐4丁目41番149	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	10, 13, 14, 18棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.02 (1.00) Ctu·Sd = 0.79 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
	11, 16棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.03 (1.00) Ctu·Sd = 0.51 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年3月)
18	北海道教育大学 附属釧路小学校	釧路市桜ヶ岡7丁目80番6	小学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	校舎棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.01 (1.00) Ctu·Sd = 0.82 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成15年12月)
19	北海道教育大学 附属釧路中学校	釧路市桜ヶ岡7丁目80番6	中学校					公立学校施設のため、構造耐震判定指標(Is0)は0.7としている 法第5条第3項第1号※2
	校舎棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 1.04 (1.00) Ctu·Sd = 0.55 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修済み(平成27年5月)
20	北海道釧路養護学校	釧路市暁町11番1	特別支援学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」	Is/Is0 = 1.06 (1.00)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.10

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

※下記Ⅰ～Ⅲの安全性の評価は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、
 震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

- Ⅰ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
- Ⅱ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
- Ⅲ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震(震度6強から7程度)に対する安全性		
	Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	—	—	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{T \cdot U} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{T \cdot U} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{T \cdot U} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{T \cdot U} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

参考 耐震診断結果の見方

建築物の耐震診断とは、震度6強から震度7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を評価することをいい、附表の「構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性」欄における評価Ⅲの耐震性能は、現行の建築基準法令における耐震基準（昭和56年6月施行の「新耐震基準※」）と同程度とされています。また、いずれの評価（Ⅰ～Ⅲ）に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。

※新耐震基準：建築物が数十年に一度程度発生する中規模地震（震度5強程度）に対してほとんど損傷しないことの検証に加えて、数百年に一度程度発生する大規模地震（震度6強から7に達する程度）に対して倒壊・崩壊しないことを検証する耐震基準

用語の解説

Is、GIS：建築物の耐震性を表す指標値（構造耐震指標値）

Is/Iso：建築物の構造耐震指標値（Is値）を判定指標値（Iso）と比較し、耐震性を判定した値

Iw：木造に適用される構造耐震指標値

CTU・SD、CT・SD：主に鉄筋コンクリート造に適用される保有水平耐力に係る指標値

q：主に鉄骨造に適用される保有水平耐力に係る指標値

Z：地域の地震活動度などによる補正係数

G：表層地盤の増幅特性などによる補正係数

U：建物の用途などによる補正係数

Rt：建築物の固有周期および地盤の種別に応じた当該建築物の振動特性により、地震力の値を変化させる係数

S造：鉄骨造

RC造：鉄筋コンクリート造

SRC造：鉄骨鉄筋コンクリート造

要安全確認計画記載建築物：北海道耐震改修促進計画に記載された建築物（避難所）

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	□□□	□□市□□	□□	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G=1.0 , U=1.00 法第5条第3項第1号※2
2	△△△	△△町△△	△△	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	Is/Iso = 0.82 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.26)	建替え	平成31年4月～平成33年3月	Z= 0.9 , G=1.0 , U=1.00 , Rt=1.00

附表において、「耐震診断の方法の名称」が同じものを見つけます。

評価の結果と附表による安全性の基準値を比較することで評価（Ⅰ～Ⅲ）が判断できます。なお、評価結果の全てが目標値以上の場合、評価Ⅲとなります。

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震(震度6強から7程度)に対する安全性		
	Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso < 0.5 又は CTU・SD < 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0 ≦ Is/Iso かつ 0.3・Z・G・U ≦ CTU・SD
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	Is/Iso < 0.5 又は CTU・SD < 0.14・Z・Rt・G・U	左右以外の場合	1.0 ≦ Is/Iso かつ 0.28・Z・Rt・G・U ≦ CTU・SD